

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約3.7億円
		住宅市街地基礎 整備事業 三ツ池川 ^{みつけ}		内地補償費	- 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市 垂水区 ^{たもんちよう} 多聞町			16年度	16年度	17年度

事業目的		事業内容	
土石流等災害対策 ・溪岸浸食が進み土砂生産が多く、下流の溪床に土砂が堆積し断面狭小を及ぼしている。このため、護岸工を設置し、下流域の人命、財産を保全する。		・護岸工 [L = 606.0m 護岸工 H = 1.6m W = 4.8m (床固工 N = 10基)	

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 必要性	・三ツ池川は、土石流危険渓流である。 ・溪岸の浸食が進み土砂生産が多いため、下流の溪床中に土砂が堆積し、治水上の影響が大であり、渓流の浸食を抑止する護岸整備が必要である。 ・昭和53年の豪雨により、上流からの土砂流出により被害が生じた。 ・保全対象：人家 = 203戸、商業店舗 = 40店舗 公共施設 = 病院、診療所、市道 舞子多聞線、田畑 = 0.05ha
地域の活性化	・護岸工事により、土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用促進に寄与する。
快適性・ゆとり	・多自然型護岸工事により、自然と水の表情豊かな安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	・人家203戸、病院、診療所、商業店舗40店舗、市道舞子多聞線が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・隣接して施行される学園南土地区画整理事業においては、三ツ池川を緑の環境骨格と位置付けており、多自然型工法等にて改修整備することにより、多様な生物環境を創出した水辺環境を創出する。
(4)優先性	・想定被害区域には人家203戸及び病院、診療所、商業店舗40店舗、市道舞子多聞線等多くの保全対象がある。 ・流域状況は溪岸浸食等土砂生産が多く、出水時には、甚大な被害が予想されるため、早急な対策が必要である。そのため、治水上砂防の必要性に加え、震災復興計画を支援する。